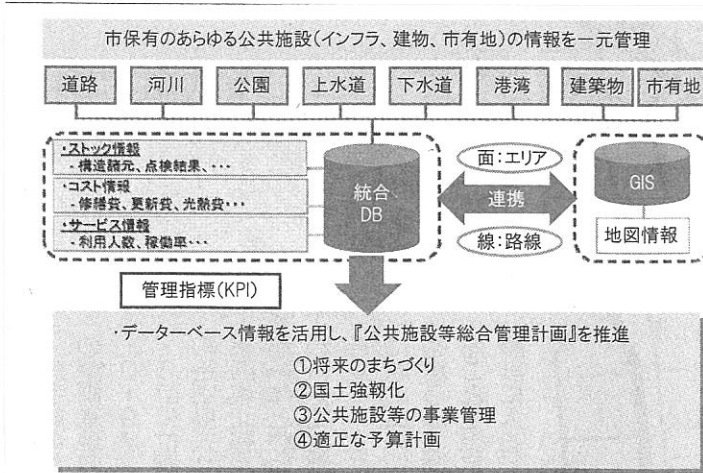


オリコンサルら

焼津市施設をDB化

再配置や耐震性追求



オリエンタルコンサルタン（データベース（DB）構築の
 ツは、静岡県焼津市と名古屋工業大学の3者で、公共施設
 が保有しているすべてのインフラ、建物、

統合型公共施設データベースの概要

市有地を一元管理すること
 で、施設の再配置や耐震性向上、工事の効率化などの効果を見込んでいる。
 同市は現在、道路や河川など施設ごとに複数のDBを構築、所管部署が個別に事業計画や予算計画を担当している。

統合型の公共施設DBを開発すれば、高度で総合的な分析ができる。まちづくりの面では、エリア別に各施設の現状や問題点を把握して、健全化、集約化などの検討が可能となる。

国土強靱化については、耐震性や老朽化を調ベリスク評価すること、耐震化や補修補強の優先順位を付けることに役立つ。また、各部署の工事予定を管理して工程を調整すれば、工事の効率化、コスト削減につながる。
 3者は2日に同市で、共同研究の協定書を締結した。